

費

支払日	内 容	金 額 (円)	領収書No.
1/20	会派広報紙印刷代 (11,000部)	87.912	1
1/31	会派広報紙折込代 (3,600部)	35.294	2
	計	123.206	円

合 計	123,206 円
-----	-----------

新年おめでとうございます!

今年は酉年、“大鳳一挙九千里”の言葉どおり、皆様とご一緒に大きく羽ばたきたいものですね!

新年の互礼会で徳山、新南陽双方の商工会議所のトップがそろって、わが周南の明日に向かって具体的な提言をなされました。その熱弁に、久しぶりに「わが周南、まだまだやれるぞ!」と大変ワクワクしました。

“新春初夢 周南大改革”の中にも、その提言が入れてあります。

市民にとって効果的なインフラ整備、その資金確保の方策、そして一番重要な地元人材の育成(人づくり)といった広範な『周南大改革』の戦略策定を提言したいと思います。

小池東京都知事は予算の野放図なムダづかいに対して、賢い支出(ワイズ・スペンディング)を提唱し、大胆に切り込んでいます。

わが周南でも、残念ながら身の丈を超えたと言われても仕方のない巨額の予算が執行され始めています。



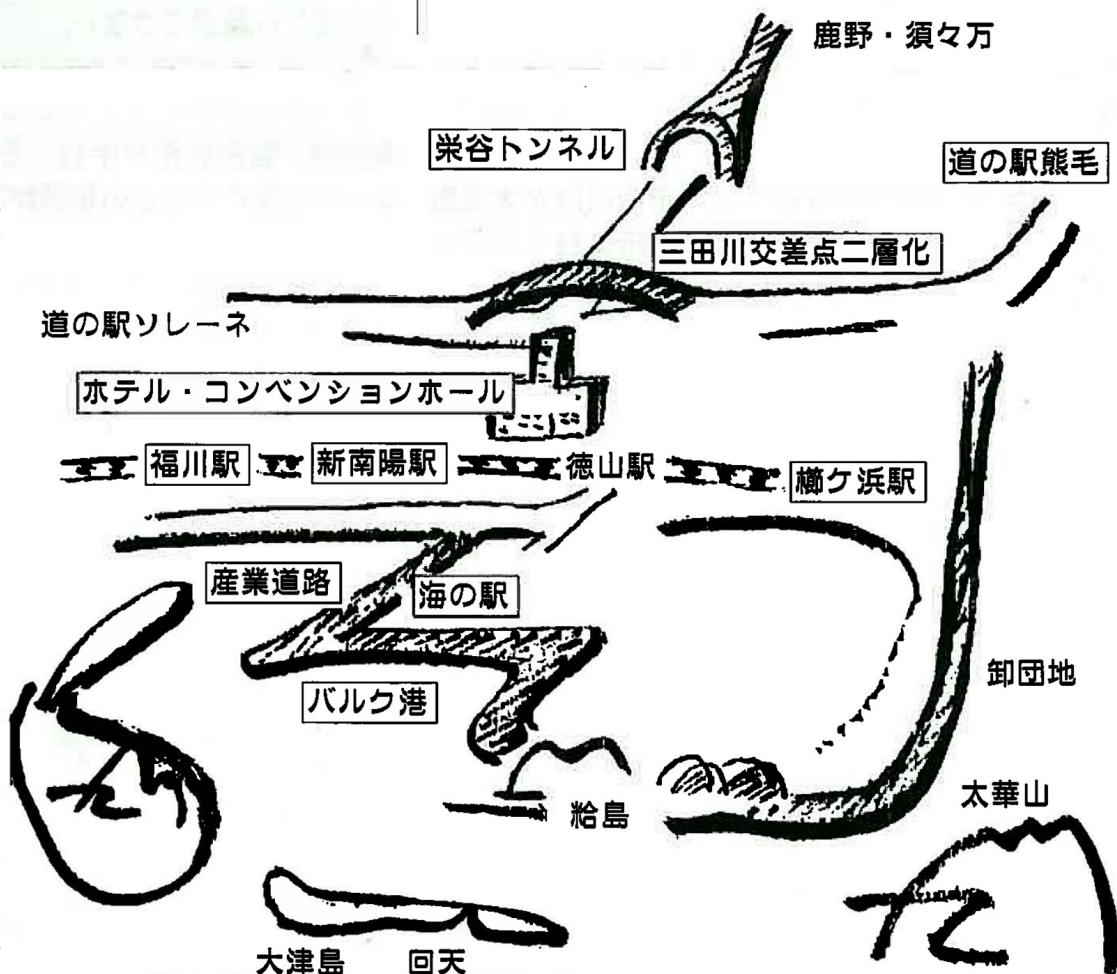
(例) 東広島市庁舎新築工事の45億円に対して、周南市役所は116億円。徳山駅周辺整備計画で130億円等々。

これだけの巨額の資金でも街中が活気づかない。それどころか市内の建設関係、街中のお店等の倒産、撤退が続いています。

巨額な市民の血税の行き先が一部に偏っているとしたら?と心配します。

新年は周南の善良な市民の皆様にとって、夜明けを告げるコ・ケッコウ(結構)な一年となりますよう、心を込めて合掌したいと思います。

新春初夢 周南大改革



※☐で囲んだ施設が「周南大改革」部分

※建設資金は1. クラウド・ファンディング[市民からの小口資金を活用]、
2. PF[民間の資金と運営ノウハウ導入]、3. 海外資金の導入 等で確保

市長冬期ボーナス15万円増額↑

「法令の改定に準拠して粛々とルールどおりに増額する」昨年12月13日の市長の議会答弁である。

これで、市長の冬季ボーナスは244万円に。県内では下関・山口市長に次ぐ。

一般職員の場合は、周南市では人事院勧告に従って改定するが、この人事院勧告もあくまでも参考には過ぎない。実際周南市でも、過去に従わなかった例があり、岩国や山口市の場合は、県人事委員会勧告の方を参考にしている。

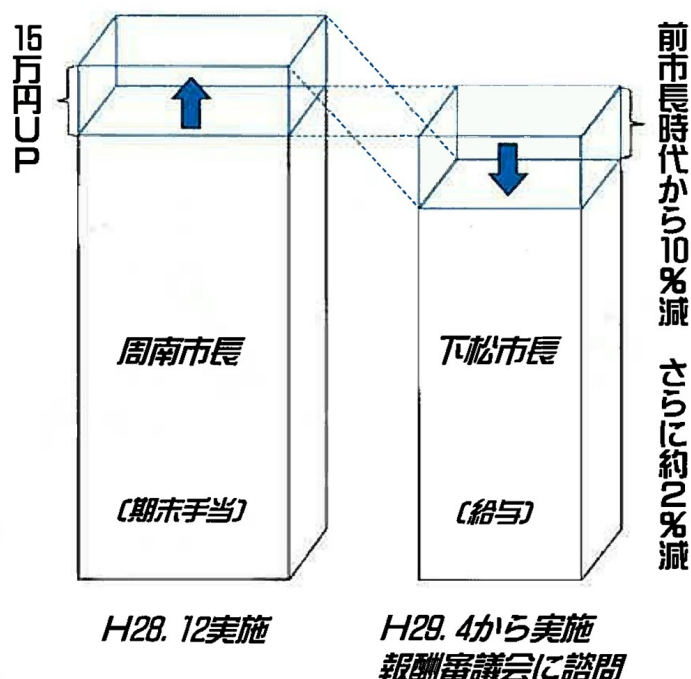
給与・手当の増減の提案権は市長にある。また、市長をはじめ議員等の特別職も、人事院勧告に拘束されるものでない。

先年、市長の『給与半額』の公約を守れない理由は、減額は議会の承認が必要であり「議会が反対したから」とあった。今回は据え置きなら、何ら議会の承認は必要ないが、市長分の増額を自ら提案された。

そのことで、この4月からの下松市長給与のカットを決めた下松市との対比が際立つことになる。

「新年度26億円の財源不足。市の財政が大変厳しい。よろしく」の発表直後に、市長自らの分の増額。議会での反対は極わずか...

上げる周南市、下げる下松市



『いまでしょう！大変な時は？』

12月議会で執行部は「財源不足に見合った国の補助金が出る」から心配ないとの答弁。そうだろうか？

コンビナート企業の相次ぐ撤退、デパート・ホテルの廃業・縮小、生産人口の減少等で税の大幅な減収、加えて新庁舎(116億円↑)、駅ビル周辺(130億円↑)、新南陽総合支所、消防署、防災システム等の建設費とその維持管理費で300億円をはるかに超える膨大な支出。財政危機が急激に進む可能性に「心配ない」と言えるのか？

特に問題は、一時的なものでなく、今後長期に構造的な欠陥体質に陥ることの恐れにある。

<2017年問題>

コンビナートに依存の周南市にとって、『2017年問題』は看過できない。

今年から中国では化学コンビナート60拠点が稼働開始。製品価格が半値となり日本製品の競争力は一気になくなるとの指摘がなされている。

市当局が率先して、企業への援助を行うと共に市財政自身を打たれ強い体質へ改善すること、また市民の協力を仰ぎ、市民と共にこの難局に立ち向かう準備態勢の確立が求められる。

このことは、もしもの時の大規模災害対策にも有効策となる。



太華山から周南コンビナートを望む

宙に浮くコンベンション・シティー！

“台湾から観光客を誘致！”と市長自らのトップセールス。

帰国直後に、ホテル・グラマシの営業縮小の発表。特に宴会、催事をやめるとのこと。年1000組を超える集いの場が無くなる。

コンベンションの場がまた消えていく。

<せめて市民館を残しておけば>

年間15万人の利用があり、文化イベント活動の一大拠点だった市民館を解体。その存続を願う1万4千人の署名に対して、市長は議会(平成25年10月30日)で「ホテルもある」からと言われた。

解体理由に「新庁舎建設のための資材置き場が必要だから」とも。



アレッ！ 資材置き場は？ 駐車場へ

づくり会社型の床保有法人が建物の取得を行う想定とします。

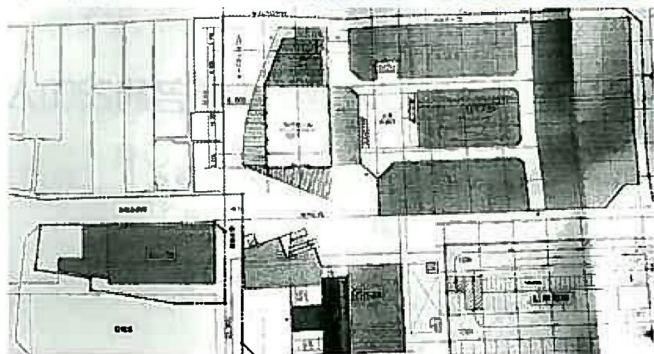
ホテル

- 延べ床面積 1,250㎡前後
- 階数 7階前後
- アップグレードの味のあるホテルを想定します。
- 客室数は40室前後でコンパクトで使いやすい規模で構成します。
- 建物は保留床として処分することを想定します。

ホール

- 延べ床面積 約300㎡
- 山口銀行の空間を活かし、交流空間として、まちの活性化の中核を担うスペースとします。
- 共用空間としますが、運営管理法人が運営を受託する形を想定します。

市が関与していない？駅前計画の計画書&設計図



駅ビル・ツタヤに大盤振る舞い



毎年約1.6億円の指定管理料が駅ビル・ツタヤ図書館に。加えて、いままでに判明分43.5億円。

その内訳、内装費6億円？、ダミー本(表紙だけの張りぼて体裁本)、6万冊の図書購入に2億円、セキュリティ・システム3,300万円等々。

なぜ市はここまでツタヤに便宜を図るのか？
いまや「駅ビル」でなく「ツタヤビル」と言われることになる。

「ポイントカードの導入も同じこと？ 個人情報の拡散にしっかりした歯止めがかかっていると言えるのか？ 12月議会でも疑問の声があがる。

さらに、ツタヤ図書館は商店街の活性化に資するとある。「年間120万人？の利用者を見込む」と市は発表しているが、その図書館利用者の商店街への回流がはっきりしない。

それなら「駅ビルを3階建てから4階建てにかえてホテルやホールの併設は？」との議員からの提案にも一考の価値がありそうだが、かわりに市長は「民間でホテル建設の動きもあるやに聞く」からとポロリ。

← <20階・駅前マンション？>

なるほど駅前の20階建てマンション計画がささやかれている。ホールもホテルも入った設計図が出回っている。

それなら市が積極的に応援してもいいはずだが、市当局は「市の援助は考えていない。関与せず」という。地権者は「市がやるから」と説明を受けているとのこと？

駅周辺の整備事業に130億円という数字が出ている。中心市街地の活性化を声高に叫ぶなら、民間の力だけでなく、キチンとした市の関与と市民に対する説明が求められるのではないかと？

がんばれ！ 道の駅”ソレーネ”

この木なんの木 気になる木

・道の駅ソレーネの駅長の二重在籍問題

昨年7月の1ヶ月間、初代駅長が埼玉県桶川市の職員とソレーネの駅長を兼務していた件について「処分を含め、1月から3月のうちに判断が示されることに」
議会への報告を約束された。

・道の駅ソレーネの借入金問題

2,000万円を市中銀行から調達。利息と元本の返済で新たに毎年数百万円の負担増が予想される。

市・執行部は「ツーリズム協会内の問題」とするが、市から13億円、国から6億円の公金が投入されているソレーネである。

その現場が明るい雰囲気になっており、市の担当部もよく汗をかいている。現在の欠損が設立時の無理からきているなら、リース代等の立替等、経営・財務面の「手助けがもっとできないものか？」



2月にバス停オープン。工事が進む



にぎやかなソレーネ周南の店内



庁舎敷地内にあった徳山の歴史の証人クロガネモチ。代々木公園に無残な姿。新しい芽も...



樹齢推定
500年超

クロガネモチのかつての勇姿

《12月議会メモ》

鹿野・熊毛水道料金アップ（17～55%）

鹿野では平均所帯で今後3年をかけ、月4500円→7000円にアップ。

水道責任者からは「値上げは、水道整備のために必要と住民からの理解を得ている」
だが、地元の反対も少なくない。

新南陽保険センター存続の署名約2300人

「市民が廃止を知らないことに驚く」「利用者には学び交流の方が好評」と市当局。

廃止に反対の議員は2名のみ。